

インターネットにおける
ルール&マナー検定

2003年「秋冬」版

実施報告書

2004年3月

財団法人 インターネット協会

目次

1. 検定概要	1
1.1 検定の目的	1
1.2 実施方法	1
1.3 受検時期	1
1.4 合格レベル	2
2. 検定問題	3
2.1 出題範囲	3
2.2 カテゴリ	3
3. 検定結果	5
3.1 受検プロフィール	5
3.1.1 得点と所要時間	5
3.1.2 メールアドレスのドメイン	8
3.2 合格プロフィール	9
3.2.1 得点と所要時間	9
3.2.2 合格証申込み	10
3.3 2003年「夏」版との比較	11
3.4 個別の設問への回答状況	12
3.4.1 カテゴリ別の正答率	12
3.4.2 個別設問の高/低正答率	12
3.5 受検者アンケート	14

1. 検定概要

1.1 検定の目的

インターネットの急激な普及により利用人口はますます増加する中で、インターネットを使う際のルールやマナーは、ますます重要になってきている。さまざまな人々が安全に、しかも快適にインターネットを利用するためには、技術やサービスの充実だけではなく、各人がルールやマナーを理解し、守ってゆくことが大切である。

インターネット協会では、インターネットを利用するルールやマナーの重要性を広くご理解いただき、安全で快適なインターネット社会の実現を目指している。その一環として、インターネットの利用者1人1人が自らのルールやマナーについての知識を客観的に測定していただくため、これまでの蓄積を基に「インターネットにおけるルール&マナー検定」を実施した。

1.2 実施方法

本検定は、メールアドレスによる受検者認証と、ウェブ上での選択肢問題に対する回答による検定から構成されている。したがって、メールアドレスを持ち、ウェブが閲覧できる環境があれば、誰でもどこからでも受検できる。なお、インターネットにおけるルールやマナーの普及啓発の観点から受検は無料とし、何度でも受検可能であり、回答合わせも出来るようになっている。但し、設問はデータベースからランダムに出題されるので、必ずしも同じ設問であるとは限らないし、設問の選択肢の並び順もランダムに変更される。

1.3 受検時期

原則として、季節毎に1ヶ月間程度の期間を実施する計画である。「2003年春版」はベータ版として限定実施し、ノウハウを蓄積した。これを踏まえ、7月21日(月)から8月31日(日)までの42日間、インターネット利用者全体を対象として、「2003年夏版」を実施した。

2003年「秋冬」版は、11月17日(月)から12月19日(金)までの33日間、サーバ保守などシステムの停止時を除いて、毎日24時間、実施した。

なお、次回(2004年春版)は2004年3月22日(月)から4月23日(金)の実施を予定している。

1.4 合格レベル

本検定は選抜試験ではなく、より多くの人々が合格することを目指している。参考資料を見ながら受検してもよく、また再受検も可能であり、回答合わせも出来ることから、比較的高いハードルである 100 問中 90 問以上の正解を合格とした。なお、合格者で希望者には有料（合格証発行手数料 3,000 円）で、インターネット協会から合格証を発行する。

2. 検定問題

2.1 出題範囲

検定の設問は、次のような資料に基づいて出題された。

- インターネット協会による「ルール&マナー集」のシリーズ
- 国際的なインターネット標準（RFCとしてIETFが管理しているもの）
- インターネットホットライン連絡協議会などのウェブサイト情報
- 一般的な常識問題、ビジネスマナー、法律
- 初歩的なコンピュータやネットワークの知識

2.2 カテゴリ

設問は、次の8つの分野から、設定された出題比率に従って出題された。

(1) 基本事項

インターネットを利用するための基本知識や、インターネットの基本的サービスの利用方法について出題する。

(2) セキュリティ

電子メールやウェブ閲覧などインターネットを利用する上で、自分や他人の権利や身体財産を守るために必要なセキュリティについての知識を問う。

(3) 関連法規

情報化時代に対応するために多くの法律が施行されている。インターネットを利用する上で知っておきたいそれらの法律についての知識を問う。

(4) 電子メール

電子メールの基礎知識やノウハウ、電子メールにおけるルールとマナーなどの知識を問う。また、迷惑メールに関連する事項も出題する。

(5) コミュニケーション

電子掲示板、NetNews、リアルタイムの対話サービス（チャット）などのコミュニケーションに関するルールやマナーについて出題する。

(6) ウェブページ

自分がウェブを使って情報を発信したり、サービスを提供する場合に知ってお

く必要があるルールやマナーについて出題する。

(7) 電子商取引

ウェブを利用して提供される通信販売、オークション、情報サービスの利用などに加えて、電子政府・電子自治体への手続きについても出題する。

(8) 基礎技術

インターネット利用におけるコンピュータ、ネットワーク、ソフトウェアについての基礎的な技術知識について出題する。

3. 検定結果

検定開始の2003年11月17日から検定終了の2003年12月19日までの受検申込み総数は4,260件であった。図3-1は、検定開催中の1日ごとの受検申込み数分布を示したものである。

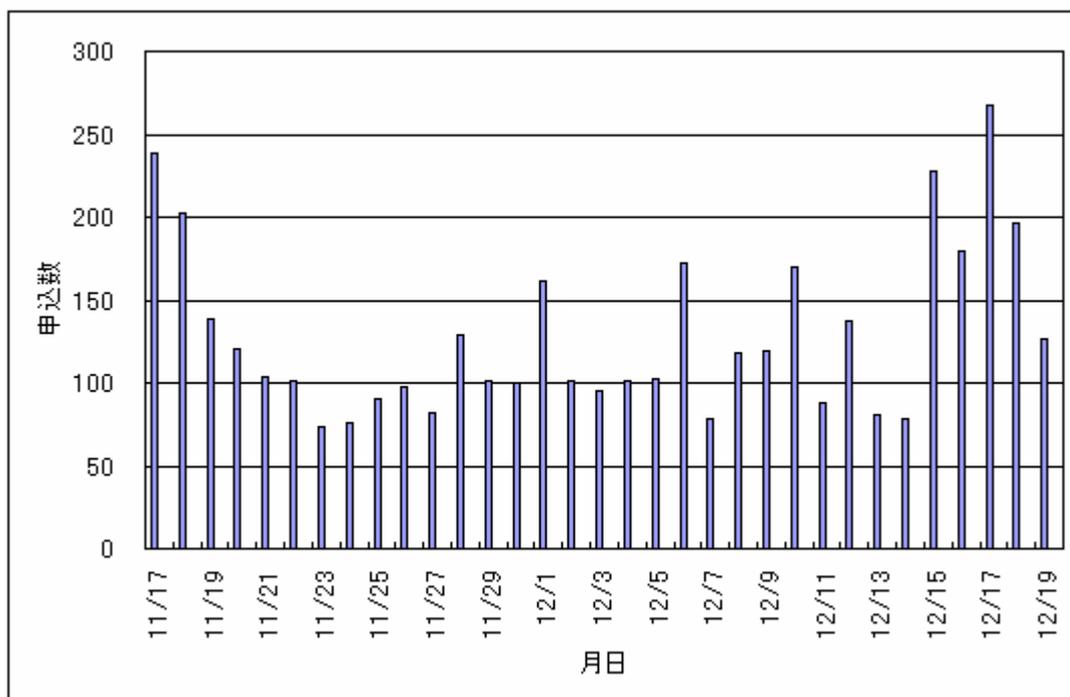


図3-1 申込み数分布

3.1 受検プロフィール

3.1.1 得点と所要時間

受検申込み総数4,260件に対し、以下のような結果となった。

実受検総数	4,020件
答案提出数	3,248件
答案提出率	80.8%
答案未提出数	772件
答案未提出率	19.2% (ギブアップ率)
再受検率	17.8%

受検の得点状況は以下の通りである。

最高点	100 点 (満点)
最低点	0 点
平均点	75.5 点

答案提出数 3,248 件に対する得点分布を図 3-2 に示す。

最も得点件数の多いのは 80-84 点 (559 件・17.2%) であり、次いで 75-79 点 (475 件・14.6%)、85-89 点 (410 件・12.6%) となっている。

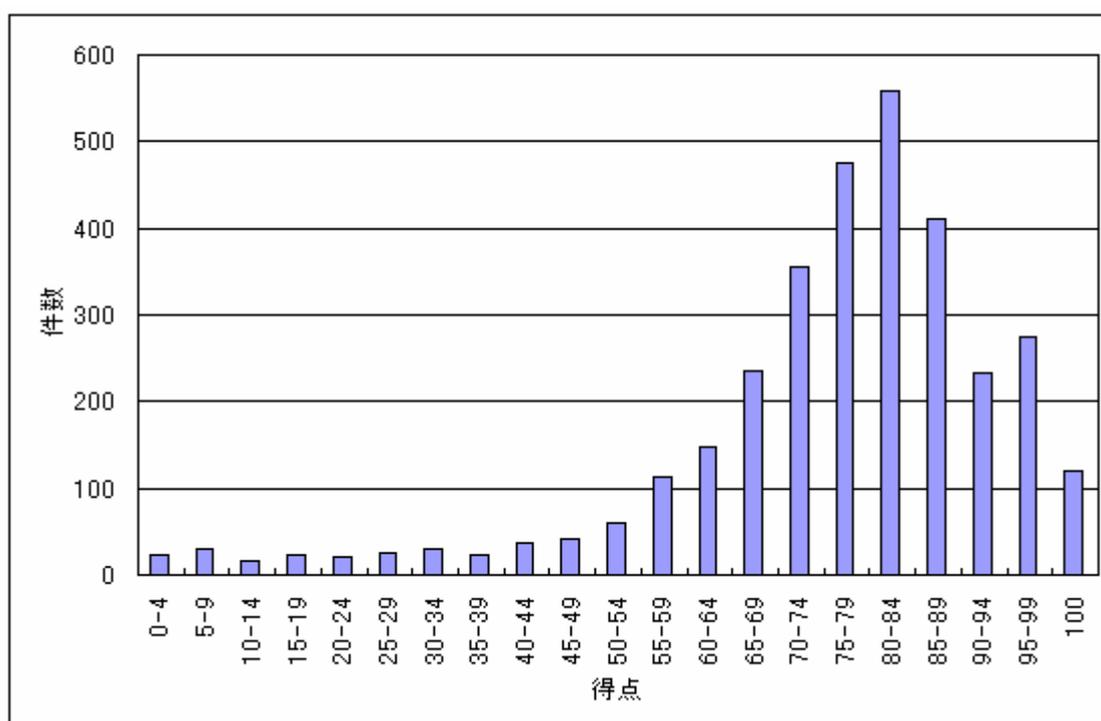


図 3-2 提出された答案の得点分布

受検の回答所要時間 (ひとつの受検 ID が問題に最初にアクセスしてから答案を提出するまでの、中断時間も含んだ総回答時間) は以下の通りである。なお、受検 ID の有効時間は 24 時間である。

最短時間	12 秒
最長時間	23 時間 58 分 25 秒
平均時間	2 時間 14 分 25 秒

回答の約 9 割 (92.2%) が受検開始から 6 時間後までに回答を終えている。図 3-3 に、受験開始から 6 時間後までの回答所要時間分布を示す。

60 分以内の回答終了割合が 54.2%、120 分以内の回答終了割合が 81.1%であった。

最も件数の多い所要時間は 40-50 分 (440 件・13.5%) であり、次いで 30-40 分 (403 件・12.4%)、50-60 分 (394 件・12.1%) となっている。

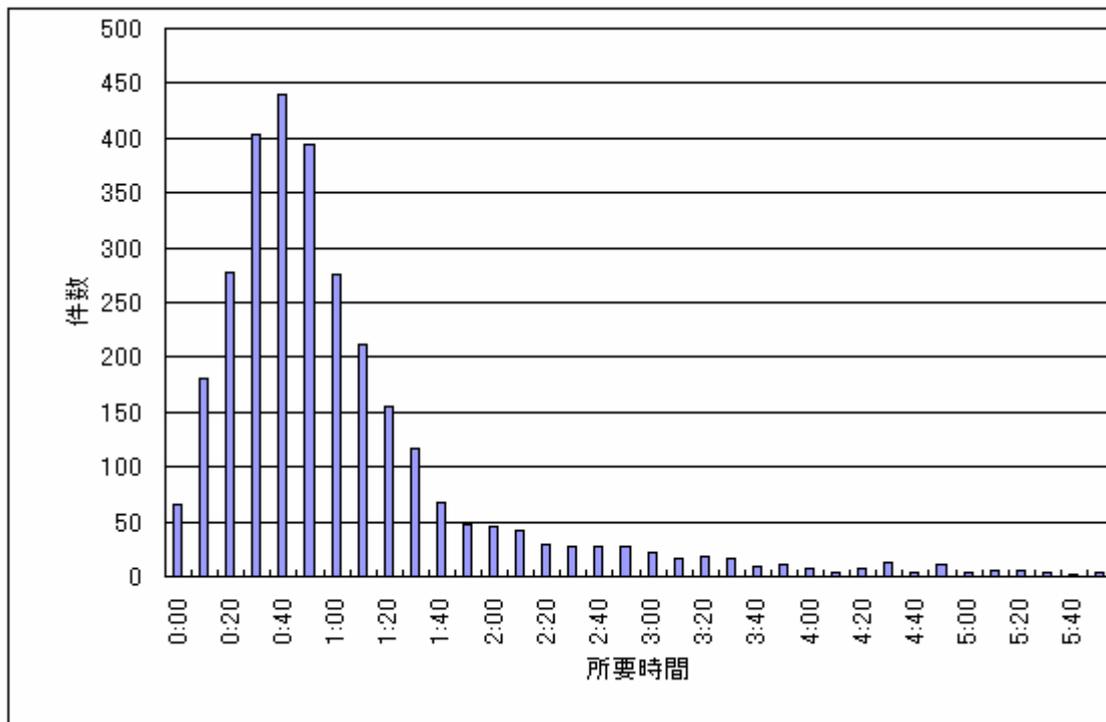


図 3-3 受験の回答所要時間

3.1.2 メールアドレスのドメイン

受検申込みに用いられた受検メールアドレスの総数は 3,304 件であった。これらのアドレスをトップレベルドメイン別に分類した場合の、各ドメインの件数と比率（上位 5 件）を表 3-1 に示す。

表 3-1 トップレベルドメインの件数と比率（上位 5 件）

トップレベルドメイン名	件数	比率 (%)
jp ドメイン	2,521 件	76.30%
com ドメイン	669 件	20.25%
net ドメイン	60 件	1.82%
to ドメイン	17 件	0.51%
org ドメイン	12 件	0.36%

jp ドメイン内に限定して、受検メールアドレスをセカンドレベルドメイン別に分類した場合の、各ドメインの件数と比率（上位 10 件）を表 3-2 に示す。

表 3-2 jp ドメイン内のセカンドレベルドメインの件数と比率（上位 10 件）

セカンドレベルドメイン名	件数	比率 (%)
ne.jp	1,014 件	40.24%
co.jp	707 件	28.06%
ac.jp	401 件	15.91%
or.jp	170 件	6.75%
infoseek.jp	28 件	1.11%
ed.jp	23 件	0.91%
ad.jp	14 件	0.56%
nagasaki.jp	11 件	0.56%
miyazaki.jp	10 件	0.40%
go.jp	5 件	0.20%

受検メールアドレスの所属ドメイン名のトップ 10 を表 3-3 に示す。2003 年「夏」版では、10 位までをプロバイダが占めていたが、今回は 5 位と 9 位に大学のドメインが入っており、注目される。

表 3-3 受検者メールアドレス所属ドメイン トップ 10

所属ドメイン名	件数	比率 (%)
hotmail.com	325 件	9.84%
yahoo.co.jp	312 件	9.44%
nifty.com	121 件	3.66%
ocn.ne.jp	115 件	3.48%
tamagawa.ac.jp	99 件	3.00%
plala.or.jp	97 件	2.94%
biglobe.ne.jp	83 件	2.51%
ybb.ne.jp	79 件	2.39%
fujjoshi.ac.jp	63 件	1.91%
so-net.ne.jp	61 件	1.85%

3.2 合格プロファイル

3.2.1 得点と所要時間

答案提出数 3,248 件（実受検総数 4,020 件の 80.8%）に対し、以下のような結果となった。

合格数	626 件
合格率	19.3%

また、合格するまでの受検回数は以下である。

受検 1 回	198 人
受検 2 回	319 人
受検 3 回	75 人
受検 4 回	12 人
受検 5 回	2 人
受検 6 回	1 人

（合計が合格数より少ないのは、同一受検者の複数合格を 1 人としているため）

90点以上の合格点数の得点分布を図3-4に示す。

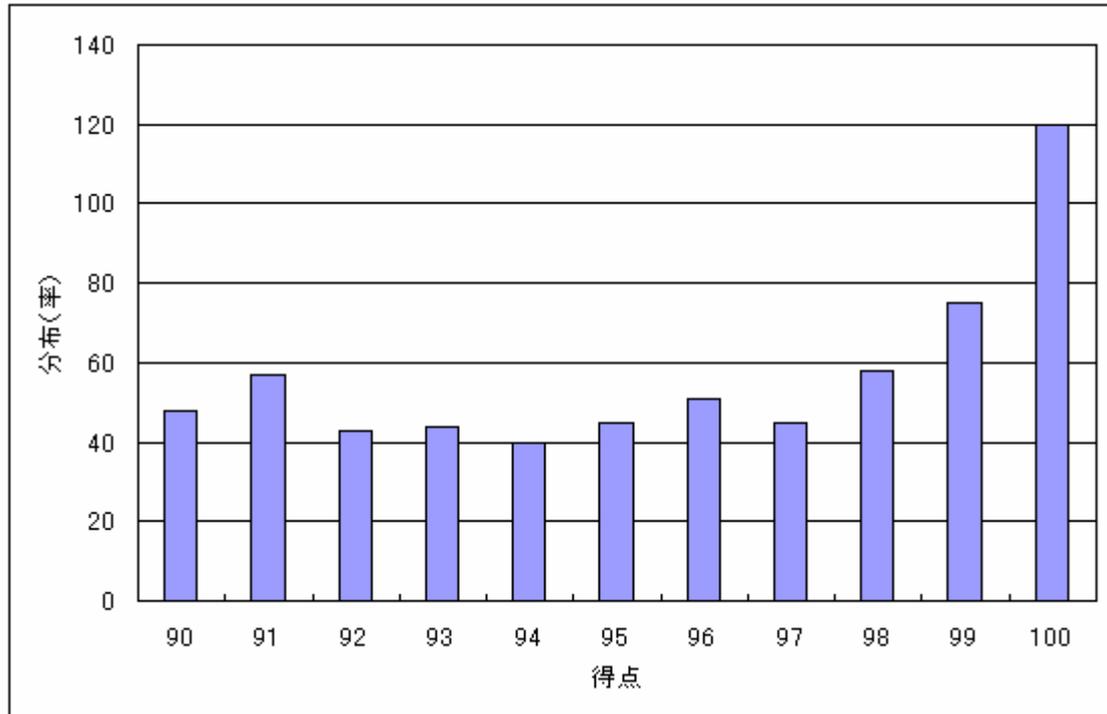


図3-4 合格得点分布

3.2.2 合格証申込み

合格数 626 件に対し、合格証申込数は 305 件であり、合格数に対しての申込率は 48.7%であった。合格証は、コンビニエンスストアでの 3,000 円（事務手数料、印刷実費、郵送費）の払い込み確認後、合格者に郵送された。

合格証発行者に対して希望により、当協会のウェブページに合格者として名前またはハンドルネームの掲載サービスを提供した。希望者は 195 名であった。

3.3 2003年「夏」版との比較

受検プロフィール、ならびに合格者プロフィールのデータを、2003年「夏」版のデータと比較した一覧表を表3-4に示す。

表3-4 受検プロフィール・合格者プロフィールの2003年「夏」版との比較

項目	「夏」版	「秋冬」版
受検申込総数	18,654 件	4,260 件
実受検総数	17,779 件	4,020 件
答案提出率	78.7%	80.8%
答案未提出率	21.3%	19.2%
平均点	82.5 点	75.5 点
受検メールアドレス総数	15,475 件	3,304 件
合格数	4,196 件	626 件
合格率	30.0%	19.3%
合格証申込数	978 件	305 件
合格証申込率	23.3%	48.7%

3.4 個別の設問への回答状況

3.4.1 カテゴリ別の正答率

各カテゴリ別の正答率を表 3-5 に示す。

表 3-5 カテゴリ別の正答率

正答率 (%)	カテゴリ
82.9%	セキュリティ
79.0%	基本事項
76.8%	コミュニケーション
76.5%	電子メール
75.8%	基礎技術
74.9%	ウェブページ
69.0%	関連法規
59.6%	電子商取引

3.4.2 個別設問の高 / 低正答率

個別の設問への回答において、正答率の高い設問のトップ 10 を表 3-6 に示す。

表 3-6 高正答率の設問トップ 10

正答率 (%)	キーワード
95.3%	記号の読み方
95.0%	電子メールにおける礼儀
94.7%	掲示板での個人情報の取扱い
94.1%	Web ページの素材
94.0%	パスワードの管理方法
93.8%	クッキーの設定
93.7%	バックアップの重要性
93.5%	インターネットにおける自己責任
93.5%	身に覚えのないメールへの対処
93.2%	情報の信頼性・更新日付の表示

一方、正答率の低い設問のトップ 10 を表 3-7 に示す。

表 3-7 低正答率の設問トップ 10

正答率 (%)	キーワード
24.1%	著作権の終了と著作物の利用
30.4%	インターネット販売におけるクーリングオフ
33.2%	オンラインショッピングにおける操作ミス
34.9%	出会い系サイト規制法の適用
35.4%	インターネット標準で書かれた文書(RFC)
35.5%	著作権 新聞雑誌記事の Web 掲載
35.5%	公開鍵証明書の署名発行
35.7%	ネットワークオークションについての基礎知識
40.2%	オンラインマークについての基礎知識
41.4%	電子証明書の用途

3.5 受検者アンケート

受検者に対して、Web 上で 16 項目（選択式 15 項目と自由記述 1 項目）からなるアンケートを実施した。

アンケートの回答結果（選択式 15 項目）の一覧表を表 3-8 に示す。

表 3-8 アンケート回答結果一覧表

	回答数	比率
回答総数	308	
Q1 この検定を何で知りましたか？（いくつでも）		
Web ページ	136	44.2%
メール配信（ニュース）	50	16.2%
メール配信（メーリングリスト）	22	7.1%
検索エンジン	18	5.8%
雑誌	11	3.6%
新聞	3	1.0%
友人 知人から	47	15.3%
職場で紹介された	17	5.5%
学校で紹介された	12	3.9%
その他	24	7.8%
Q2 受検目的は何でしたか？（近いものを1つ）		
自己啓発	170	55.2%
資格取得	35	11.4%
好奇心	89	28.9%
その他	8	2.6%
無回答	6	1.9%
Q3 検定はあなたにとって有益でしたか？		
有益	247	80.2%
分からない	49	15.9%
無意味	3	1.0%
無回答	9	2.9%

Q4 受検の難易度はどうでしたか？

難しい	149	48.4%
適当	138	44.8%
易しい	15	4.9%
無回答	6	1.9%

Q5 受検結果はどうでしたか？

1回で合格	29	9.4%
2回以上で合格	122	39.6%
不合格	150	48.7%
無回答	7	2.3%

Q6 合格証を申し込まれましたか？

申し込んだ	71	23.1%
申し込んでいない	83	26.9%
不合格だったので、申し込んでいない	144	46.8%
無回答	10	3.2%

Q7 今回の受検は初めてですか？

夏検定にも挑戦した	48	15.6%
今回が初めて	255	82.8%
無回答	5	1.6%

Q8 受検の際のネットワークはどのようなものをお使いでしたか？

常時接続	274	89.0%
ダイヤルアップ	25	8.1%
無回答	9	2.9%

Q9 受検の際に使われた e-mail アドレスはどれをお使いでしたか？

プロバイダ	174	56.5%
職場・学校	65	21.1%
フリーメール	64	20.8%
無回答	5	1.6%

Q10 受検をされた場所はどこでしたか？

自宅	215	69.8%
職場・学校	83	26.9%
その他	5	1.6%
無回答	5	1.6%

Q11 あなたの職業を教えてください。

会社員	108	35.1%
公務員	20	6.5%
学生	50	16.2%
農林水産業	0	0.0%
商工自営業	10	3.2%
教育職	13	4.2%
専門職 (弁護士など)	4	1.3%
自由業	11	3.6%
専業主婦	11	3.6%
パート・アルバイト	20	6.5%
無職	31	10.1%
その他	24	7.8%
無回答	6	1.9%

Q12 以下のうち、ご経験があるものがあれば教えてください。

(いくつでも)

ホームページの作成	207	67.2%
メールリストの管理	42	13.6%
電子掲示板の管理	107	34.7%
EC サイトの管理	11	3.6%
企業・学校等におけるシステム管理	63	20.5%
企業・学校等におけるIT 推進リーダー/推進担当	43	14.0%
インターネット関連の授業・講習会・研修会での講師	51	16.6%
インターネット関連のヘルプデスク	36	11.7%

Q13 あなたの年齢を教えてください。

20歳未満	25	8.1%
20代	89	28.9%
30代	80	26.0%
40代	61	19.8%
50代	24	7.8%
60歳以上	23	7.5%
無回答	6	1.9%

Q14 あなたの性別を教えてください。

男性	228	74.0%
女性	75	24.4%
無回答	5	1.6%

Q15 本検定をより良いものにしていきたいと考えております。

充実してほしい内容はどのような分野ですか？ (いくつでも)

基本的知識	168	54.5%
法律・ルール	194	63.0%
安全・セキュリティ	205	66.6%
電子メール	85	27.6%
コミュニケーション	82	26.6%
Web ページ	76	24.7%
電子商取引	124	40.3%
基礎的な技術知識	145	47.1%

自由記述欄への主な回答（抜粋）を以下に示す。

(1) 試験の感想

- ・いつでもどこでも受験できるという点と、資料を見ながら出来るという点で、受検しやすかったのが良かった。
- ・「自分はルールやマナーをどの程度知り、守れているのか？」というのを、「客観的に」かつ「容易に」分かるため、非常に有益なものだと感じた。
- ・最近、掲示板等でもマナーの知らない人が増えてきているので、こういった知識は必要だと感じた。

(2) 問題について

- ・技術的知識に偏重しすぎ。ネット利用上のモラル面の考え方等にも言及したほうが、より広く一般のユーザーに有益ではないか。
- ・コミュニケーションに関する問題を充実させてほしい。
- ・問題量、着眼点からもインターネットのルール・マナーを幅広くカバーしており、理解を深めるのに大変役立つ検定だった。
- ・まだ法律にはなっていない、マナー・ルールの要素を増やしてほしい。Eメール関連を増やすべきである。
- ・法律やセキュリティ部分がかなり難しすぎなので、そこをもう少し簡単にしても良いと思います。
- ・マナーに関するようなことは、正解を見て少し納得がいかない部分もありましたが、ひとつの目安として、受検してみてよかったと思う。

(3) UIについて

- ・サイトは便利で使い勝手も良いと感じた。
- ・採点結果の確認が24時間以内では、じっくり解説に目を通せない人もいないか。
- ・ページ構成もスクロールなしで、見やすく、配慮されていると思った。ダイヤルアップ接続で、回線を一時的に切っても、問題ない設定になっている点も良いと思う。
- ・設問が多いので回答出来る期限を24時間ではなく3日くらい猶予があればもっと気軽に受験することが出来ると思った。
- ・いくつかの段階に分けて短時間で回答できるようにしていただけるといいかなと思う。

(4) 合否判定・合格証について

- ・ Web 上で問題が公表されている。検定の公平さを維持するためには、回答時間制限を導入するなど、不正を排除する方法を考える必要がある。啓発事業と考えるなら、時間制限は不要。
- ・ 合格ラインが厳しすぎる。点数が表示されれば、合格/不合格はいらぬのではないか？
- ・ いつでも受けられるというのがよい。ただ、一度受けると回答もわかるというのは、検定としてはどうなのか。
- ・ 合格証 3000 円が高く感じるのは、この検定の知名度やステータスが足りないからだと思う。履歴書に書けるくらいになると良い。

(5) その他（提案など）

- ・ 難易度を初級・中級・一般と数段階に分けてチャレンジできるとよい。
- ・ 職員教育に使うのであれば、分野を絞ったテストを準備し管理者に結果を通知するなどの仕組みがあるとよい。
- ・ 問題回答の解説集を頒布してほしい。
- ・ 結果から自分がどの分野に弱いのか、それが分かる結果を送って欲しい。点数だけでは全く意味がないと考える。
- ・ 設問中に出てくる用語の意味が調べられる「用語集」が掲載されていると便利。
- ・ このような試験形式は、今後、Eラーニングをするうえでは、大変、効果的だと思うので、いろいろな試験を増やしてもらいたい。

以上